AIエージェント（目的に向けて調べ、計画し、実行する）

指示に答えるだけでなく、自分で手順を考えて道具を使うAIは、どのように動くのだろう

ふつうの対話型AI

質問を1つ入力する

↓

AI

↓

答えを1つ返す

1回のやりとりで終わる。
次に何をするかは人が決める

ちがい：エージェントは、1つの目的のために、何回も道具を使い、途中の判断も自分で行う

AIエージェント：目的に向けて、手順を考えて進める

目的（架空）：校外学習の候補地を3つ調べ、移動時間と費用を比べた表をつくって

1 計画を立てる
調べる→計算する→表にする

→

2 道具を使う
検索・計算・表・ファイル



↓

3 結果を見て、次を決める
足りなければ2にもどる

←

4 報告する
表と、調べた出典を示す

人が確かめる

・計画は目的に合っている？
・予約・送信・支払いなど、取り消せない操作の前に人がOKを出す
・結果の内容を確かめる

※ 道具＝検索・計算・表計算・ファイルの作成など、AIが呼び出して使う機能

使うときの注意

- ✔ まちがった情報をもとに進んでしまうことがある
- ✔ できることを広げすぎない（権限をしぼる）
- ✔ 何をしたかの記録を見て確かめる
- ✔ 最後は人が判断し、責任を持つ

※ 模式図。目的・手順は架空の例。実際のしくみは、サービスによってちがう。